

001

イタリア都市紀行

ナポリ周辺の都市・建築・庭園

講座内容

古代ギリシャ都市に起源をもち、歴代のローマ皇帝たちに愛され、今なお多くの芸術家を魅了してやまない町ナポリ。南イタリアの中心都市では、美しい海と雄大なヴェスヴィオ火山を背景に、庶民のエネルギーに満ちあふれたイタリアらしい日々が繰り返されています。巨大な古代ローマ円形闘技場を誇るポッツォーリ。ブルボン家の巨大な王宮が広がるカゼルタ。あたかもタイムカプセルのごとく火山灰に閉じこめられた古代都市ポンペイ。本講座は南イタリア都市のあふれる魅力を、豊富なスライドでヴィジュアルに解説します。

期 間	5月9日～7月18日	受講料	10,000円
曜 日	金曜日	定 員	40名
時 間	13:15～14:55	会 場	横浜・金沢八景キャンパス
回 数	全6回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回資料を用意します。		
備 考	会場は5号館101ホールを予定しています。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月 9日 (金)	ナポリ 1 古代ギリシャ都市の面影
2	5月23日 (金)	ナポリ 2 バロック都市の人生劇場
3	6月 6日 (金)	ポッツォーリ 古代の港湾都市と円形闘技場
4	6月20日 (金)	カゼルタ ブルボン家の巨大王宮
5	7月 4日 (金)	ポンペイ 灰に埋もれたローマの街並み
6	7月18日 (金)	ベネヴェント アッピア街道の重要都市

講師紹介



黒田 泰介(くろだ たいすけ)

本学建築・環境学部教授

専門は歴史的建築の再生・活用計画(レストアウロ)、イタリア都市史。博士(美術)。著書に「ルッカ 一八三八年」(アセテート、2006年)、「LUCCA 1838」(Maria Pacini Fazzi Editore, 2008)、「TwelveHouses restored in Japan and Italy」(AracneEditrice, 2011)、「イタリア・ルネサンス都市逍遙」(鹿島出版会、2011年)、「はじめて学ぶイタリアの歴史と文化」(ミネルヴァ書房、2016年)、「古代ローマの港町 オステティア・アンティカ研究の最前線」(勉誠出版、2017年)、「リノベーションからみる西洋建築史」(彰国社、2020年)など。